

選考結果総括表

府省庁名 文部科学省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)日本学術 振興会	理事長	杉野 剛	61	R4.4.1	文部科学省研究振興 局長 [OB]	再任			応募総数 12名 ↓ 書類選考 ↓(2名) 面接 ↓(2名) 優先順位を付した情報 を踏まえ、任命権者が 選任
(独)日本スポ ーツ振興セン ター	理事長	芦立 訓	62	R3.1.1	文部科学審議官 [OB]	再任			応募総数 16名 ↓ 書類選考 ↓(2名) 面接 ↓(2名) 優先順位を付した情報 を踏まえ、任命権者が 選任
(独)日本芸術 文化振興会	理事長	河村 潤子	66	H30.4.1	内閣官房内閣審議官 [OB]	長谷川 眞 理子	70	国立大学法人総合研 究大学院大学長	応募総数 15名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 優先順位を付した情報 を踏まえ、任命権者が 選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に「OB」と記載すること。

独立行政法人日本学術振興会役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	杉野 剛	61	R4.4.1	※1	R5.3.31	文部科学省研究振興局長【公募OB】	再任			文部科学大臣	R5.4.1
理事	先崎 卓歩	54	R3.7.1	2	R5.9.30	文部科学省研究振興局学術研究助成課長【役員出向】	小谷 和浩	52	文部科学省大臣官房付 (併)内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付) (命)内閣官房教育未来創造会議担当室参事官 (命)内閣官房新しい資本主義実現本部事務局参事官【役員出向】	理事長	R5.4.1
理事	水本 哲弥	66	R3.10.1	2	R5.9.30	国立大学法人東京工業大学理事・副学長				理事長	
監事	小長谷 有紀	65	H30.9.1	※2	R5.8 (見込み)	人間文化研究機構 国立民族学博物館 超域フィールド科学研究部教授				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	西島 和三	69	H30.9.1	※2	R5.8 (見込み)	持田製薬(株)医薬開発本部フェロー				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中(長)期目標期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中(長)期目標期間最終年度の財務諸表の承認日(8月末)まで。

独立行政法人日本スポーツ振興センター役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日	
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴			
公募	理事長	芦立 訓	62	R3.1.1	※1	R5.3.31	文部科学審議官【公募OB】	再任			文部科学大臣	R5.4.1
	理事 スポーツ振興投票等業務担当	松坂 浩史	55	R2.10.1	2	R5.9.30	文部科学省高等教育局私学部私学行政課長【役員出向】	大西 啓介	52	スポーツ庁政策課長(命)スポーツ総括官【役員出向】	理事長	R5.4.1
	理事	久木留 毅	57	H29.7.11	2	R5.9.30	(独)日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センターセンター長				理事長	
	理事	岸 千秋	62	R1.10.1	2	R5.9.30	(独)日本スポーツ振興センター総務部長				理事長	
	理事	大西 達也	56	R2.12.1	2	R5.9.30	(株)日本政策投資銀行地域企画部 審議役				理事長	
	監事	小林 順治	73	H28.8.1	※2	R5.8 (見込み)	上智大学経済学部経営学科特別契約教授				文部科学大臣	
	監事 (非常勤)	大橋 玲子	60	H27.10.1	※2	R5.8 (見込み)	公認会計士				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中(長)期目標期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中(長)期目標期間最終年度の財務諸表の承認日(8月末)まで。

独立行政法人日本芸術文化振興会役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	河村 潤子	66	H30.4.1	※1	R5.3.31	内閣官房内閣審議官 【公募OB】	長谷川 真理子	70	総合研究大学院大学 長	文部科学大臣	R5.4.1
理事	水見谷 直紀	54	R4.1.1	4	R5.9.30	文部科学省科学技術・学術政策局政策課長 (命)科学技術・学術政策局科学技術・学術総括官 (併)内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官(統合戦略担当)【役員出向】				理事長	
理事	大和田 文雄	67	H25.4.1	4	R5.9.30	独立行政法人日本芸術文化振興会国立劇場芸能部長				理事長	
理事	櫻井 弘	67	H30.4.1	4	R5.9.30	独立行政法人日本芸術文化振興会国立能楽堂部長				理事長	
監事	大石 学	69	H30.9.1	※2	R5.8 (見込み)	東京学芸大学副学長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	藤川 裕紀子	58	H27.10.1	※2	R5.8 (見込み)	公認会計士				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中(長)期目標期間の末日まで。
 ※2 監事の任期は、中(長)期目標期間最終年度の財務諸表の承認日(8月末)まで。

(独) 日本学術振興会理事長選任理由

本法人の使命は、科学技術・イノベーション基本計画など国の学術振興策を踏まえつつ、学術研究への助成、研究者養成への支援、学術に関する国際交流の促進、学術の応用に関する研究、国内外の学術研究動向や諸外国の学術振興方策に関する調査・研究などを総合的に実施し、学術の振興を図ることにある。

そうした組織にあって、本ポストには、中期目標・中期計画に基づき、強いリーダーシップを発揮し、法人の運営管理業務を総理するとともに、役職員の指揮監督、業務運営のマネジメント、コスト縮減のための取組、関係機関との調整を行うことが求められる。

本件公募に対しては、12人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、2人に対する評価を文部科学大臣に提示し、文部科学大臣が杉野氏を選任したところである。

任命理由は、杉野氏が令和4年4月の理事長就任以降、振興会の課題等を的確に把握し、振興会の改革・改善に着実に取り組んでおり、次期中期目標・中期計画の実現を軌道に載せる意欲・能力を十分に有することが、選考委員会による書類選考及び面接審査を通じて高く評価されたことによるものである。特に博士人材の活用という国の課題も踏まえて、博士号を有する職員を増やすなど組織体制の充実に大胆に取り組むという意欲を示していることから、文部科学大臣もそうした熱意に大いに期待しているところである。

(独) 日本スポーツ振興センター理事長選任理由

本法人の使命は、スポーツの振興及び児童生徒等の健康の保持増進を図り、国民の心身の健全な発達に寄与することである。

そうした組織にあって、本ポストには、スポーツの振興及び児童生徒等の健康の保持増進に関する高度な知識及び経験を有し、リーダーシップを発揮して中期目標を達成するための計画を確実に実施できる能力を有することが求められる。

本件公募に対しては、16人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、2人の評価を任命権者である文部科学大臣に提示し、これに基づき、文部科学大臣が芦立訓氏を選任したところである。

任命理由は、同人は、理事長就任後、大学院でスポーツ科学を自ら学びなおすなどスポーツ行政に携わる意欲が旺盛であり、文部科学審議官などのスポーツ行政における経験を経た知見・能力も十分であることに加え、業界団体がインテグリティを確保できるよう、透明性を維持しながらスポーツ振興に取り組む姿勢の重要性を示すなど、高い倫理観を有していることなどが選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特にセンターが抱える国立競技場の民間事業化や秩父宮ラグビー場のPFI活用による計画的な整備事業などといった重要課題への認識及び解決に向けた十分な能力・意欲を有しており、文部科学大臣もそうした能力と意欲に大いに期待しているところである。

(独) 日本芸術文化振興会理事長選任理由

本法人の使命は、文化芸術の振興・普及活動に対する援助を行い、我が国古来の伝統芸能の保存と振興を図るなど、芸術その他の文化の向上に寄与することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、芸術文化に関する高度な知識及び経験を有し、人格高潔で高い倫理観を持ち、リーダーシップを発揮して中期目標を達成するための計画を確実に実施できる能力を有することが求められる。

本件公募に対しては、15人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、3人に対する評価を文部科学大臣に提示し、文部科学大臣が長谷川眞理子氏を選任したところである。

任命理由は、同人が国立大学法人学長といった組織運営に関する上位の管理経験を有しており、高度な組織マネジメント力を有していると評価できるほか、文化芸術以外の異なる専門分野からの視点、気付きは新鮮なものであり、科学的バックボーンを有し、社会情勢の変化に応じた芸術文化の変化にも上手く対応できることを期待できることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて評価されたことによるものである。特に同人は、公的機関における人脈形成の実績、強力な情報発信力という強みをもっており、文部科学大臣も、新しい国立劇場の整備等に関する関係機関との円滑な連絡調整や、我が国の文化芸術の中核的拠点としての振興会の魅力、取組を内外へ発信する際に力を発揮できると大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【文部科学省】

- ・ 独立行政法人日本学術振興会

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 弁護士	1名
・ 公認会計士	1名
・ 団体役員	3名
計	5名

- ・ 独立行政法人日本スポーツ振興センター

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 弁護士	2名
・ 公認会計士	1名
・ 団体役員	2名
計	5名

- ・ 独立行政法人日本芸術文化振興会

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 大学教授	1名
・ 弁護士	1名
・ 公認会計士	1名
・ ジャーナリスト	1名
・ 団体役員	1名
計	5名